

# 檜原市第三期子ども・子育て支援事業計画 代用計画

資料3-2

## 令和7年度以降のこども誰でも通園制度の利用需要と提供体制

	年齢	令和7年4月1日	令和8年4月1日	令和9年4月1日	令和10年4月1日	令和11年4月1日
		見込み・計画数	見込み・計画数	見込み・計画数	見込み・計画数	見込み・計画数
就学前児童数	0歳児	688.	676.	668.	654.	646.
	1歳児	688.	677.	665.	657.	644.
	2歳児	752.	686.	677.	665.	657.
	合計	2,128.	2,039.	2,010.	1,976.	1,947.
対象児童数 ※1	0歳児	0.	204.	202.	198.	195.
	1歳児	0.	363.	363.	364.	370.
	2歳児	0.	325.	327.	322.	318.
	合計	0.	892.	892.	884.	883.
利用率 ※2	0歳児	0.	8.8	8.9	9.1	8.7
	1歳児	0.	15.2	14.9	14.6	14.1
	2歳児	0.	16.9	16.8	16.5	16.7
	合計	0.	40.9	40.6	40.1	39.4
(ニーズ) 利用者数 ※3	0歳児	0.	18.	18.	18.	17.
	1歳児	0.	55.	54.	53.	52.
	2歳児	0.	55.	55.	53.	53.
	合計	0.	128.	127.	124.	122.
必要受入時間数 ※4	0歳児	0.	648.	648.	2,160.	2,040.
	1歳児	0.	1,980.	1,944.	6,360.	6,240.
	2歳児	0.	1,980.	1,980.	6,360.	6,360.
	合計	0.	4,608.	4,572.	14,880.	14,640.
(必要定員数) 整備量 ※5	0歳児	0.	1	1	1.	1.
	1歳児	0.	1	1	3.	3.
	2歳児	0.	1	1	3.	3.
	合計	0.	3	3	7	7

※本市のこども計画では「時間」での標記であったが、代用計画については国からの様式により「定員数」に置き換えるよう求められている。

### <算出方法>

- ※1 対象児童数（対象年齢の未就園児数）  
就学前児童数 - 資料2-2「(4) 乳幼児期の教育・保育の量の見込みと提供体制②保育事業」量の見込み数
- ※2 利用率 利用者数（ニーズ）÷対象児童数
- ※3 利用者数（ニーズ）  
当初の計画と同様、R5年度実施のアンケート結果より、0～2歳児かつ未就園児かつハイリスク者の数
- ※4 必要受入時間数 利用者数 × 月一定時間（10h）×12月  
OR8、9年度は、利用者数 × 月一定時間（3h）×12月で計算
- ※5 必要定員数（整備量）  
R8、9年度は1施設のみ、実際の定員は3人、R10、11年度は2施設を想定、定員は3人×2施設=6人  
OR10、11年度は、必要定員数は7人であるが、整備量の見込みが6人のため、不足する見込み。